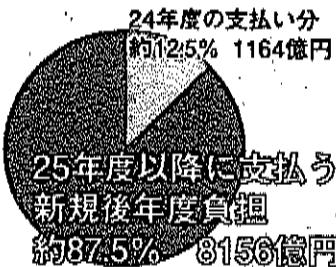


24年度 武器一般輸入

防衛省が2024年度予算案で計画している、直接または商社を通じて武器を購入する「一般輸入」の内訳を見る。部品の調達や維持整備の経費が目立ちます。

最も高額なのは、航空自衛隊の航空機の維持整備費で1974億円です。他にも陸・海自衛隊の航空機部品や、空自ヘリの部品、陸自△22オス

2024年度予算案のFMS契約額のうち支払時期の内訳



フレイの維持整備など航空機関連事業が並びます。海自では部品枯渇対策2245億円、艦船用部品の取得74億円を契約します。

また、弾薬の取得費も空自348億円、陸自66億円、海自53億円に上ります。英國・イタリアと共同開発する次期戦闘機の関連経費として43億円を充てています。

武器の調達価格は、田安や部品・原材料価格の高騰によって軒並み上昇しています。

昨年10月27日の財政制度等審議会（財務相の諮問機関）の資料では、「価格高騰について『防衛装備品の調達に多大な影響を与えており、FMSを含めた海外調達が大きな割合を占めている」と警告しました。